

鶏肉情勢

項目	内容
供給	1. 国内 (1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和5年8月末実施)によると、8月の推計実績は処理羽数60,246千羽(前年比101.3%)、処理重量175.5千ト(同100.8%)となった。前月時点の計画値より処理羽数は1.1%下方修正、処理重量は2.3%下方修正された。8月は例年になく酷暑となり、暑熱対策に成功し順調に育成が進んだ農家もあるが、食餌量が低下し、増体がうまくいかず出荷体重が3kgを切る農家も多くあったとのこと。 (2) 9月の計画は処理羽数、処理重量とも前年を上回る見通しとなっている。処理羽数は中部地区のみ前年を下回る予想となっており、処理重量は北海道・東北地区と近畿・中国・四国地区のみ前年を下回る予想となっている。9月に入り、暑い日が続いているものの、朝晩を中心に徐々に気温が下がっているため、生産成績は回復する見通しとのこと。 工場の人員不足は技能実習生が来日するようになったことで、少しづつ解消されており、加工品(切り身・手羽中二ツ割・砂肝スライス等)や副産品(小肉・ハラミ等)の生産は徐々に回復していくと思われる。
	2. 輸入 (1) 財務省9月28日公表の貿易統計によると令和5年8月の鶏肉(原料肉)の輸入量は前月から+9.3千トの56.0千トで、国別ではブラジルが前月+8.1千トの42.0千トでタイが+0.5千トの12.7千トとなり、ブラジル・タイともに前月より増加となった。前年同月の実績に対しては+8.6千トとなった。(独)農畜産業振興機構(ALIC)による今後の見通しでは、9月が44.3千ト(前年比107.9%)、10月は鳥インフルエンザによる輸入停止措置の影響でブラジルからの輸入量減少が見込まれるため、43.7千ト(前年比81.0%)となっている。ブラジル産については一時輸入停止措置が解除されたことにより、年内での国内在庫は潤沢なことが予想される。タイ産についても引き続き安定した輸入量が予想される。一方で10月よりフランス国内での鳥インフルエンザのワクチン接種が開始となり、これに伴いフランスからの家畜製品品の輸入がすべて停止する見通しのため、今後は鴨やフォアグラ等への影響は懸念されるが、国産プロイラーへの影響は無いと思われる。 (2) 鶏肉調整品の輸入量は前月から+0.9千トの40.4千トで、国別では中国が▲0.5千ト、タイが+1.5千トとなった。前年同月の実績に対しては▲7.4千トとなり、前月比は上回ったが前年比は下回る結果となった。タイの生産は引き続き安定しており、8月実績は増加となった。価格については依然として高騰しており、上昇傾向が予想される。外食についてはインバウンド需要等で回復しつつあり、中食・総菜向け等の引き合いも継続して強い状況である。 (3) 財務省が9月28日に公表した貿易統計によると8月の輸入鶏肉(解体品)の価格は前年同月より3.5%下降し、鶏肉調整品は前年同月より0.5%下降した。国別ではブラジル産の価格が335円/kg(前月比15円下げ)、タイ産が397円/kg(同2円高)となっている(国別平均価格)。前年比ではブラジルが下降し、タイが上昇した状況である。ブラジル産は一時輸入停止措置が解除された影響もあり、8月実績は下げ基調となっており、国内市場価格も下降傾向となっている。タイ産については現地価格が引き続き上げ基調になっており、今後の国産鶏肉への影響を注視したい。
需要	1. 家計消費 (1) 総務省統計局発表の家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)によると、令和5年8月の生鮮肉消費(購入)は数量4,035g(前年比100.6%)、金額6,443円(同99.2%)と、数量は前年を上回り、金額は前年を下回った。鶏肉は数量1,363g(同99.3%)・金額1,411円(同107.8%)・単価103.8円/100g(前年同月+8.1円)と、数量のみ前年を下回る結果となった。調理食品が金額13,117円(同104.4%)、外食が16,760円(同121.3%)となっている。光熱費の高騰やあらゆる商品の値上げが相次ぐことにより節約志向が働き、生鮮肉は低価格商品に需要がシフトしてきていると思われる。外食においては、夏祭りやイベント開催の回復や、入国規制緩和による外国人旅行者によるインバウンド需要もあり、コロナ前に戻りつつあると考えられる。
	2. 量販・卸 (1) 食品関連スーパー3団体の販売統計速報によると、令和5年8月の食品売上高は全店ベースで前年比105.7%と前年を上回った。生鮮3部門の売上高は全店ベースで同103.3%、既存店ベースは同102.3%となった。また、畜産部門の売上高は約1,228.4億円で全店ベース同102.7%、既存店ベース同101.7%となった。一般社団法人全国スーパーマーケット協会によると、猛暑により季節商材の販売が好調。夏祭りやイベント需要も回復し、光熱費の高騰や猛暑による調理敬遠を追い風に特に総菜部門が引き続き好調とのこと。 畜産部門においては、精肉全般で相場高が続いているが、豚肉・鶏肉では安価な部位や涼味商材を中心に好調。牛肉では、国産牛価格が落ち着き、お盆時期の焼肉需要は好調であったが、その他の時期は苦戦している。加工肉を含め、低価格商品に需要がシフトしており、売上高は確保できて利益が取れない状況が続いているとのこと。
	3. 業務・加工筋 (1) 日本ハム・ソーセイジ工業協同組合調べによると令和5年8月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比105.2%の4.5千トとなった。うち国内品は同94.4%の3.4千トと前年を下回り、輸入品については同163.3%の1.1千トと前年を上回った。
在庫	1. 令和5年8月 (1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)の推定期末在庫では国産32.0千ト(前年比112.3%・前月差+1.4千ト)、輸入品133.3千ト(同110.0%・同+3.7千ト)と合計で165.3千ト(同110.4%・同+5.1千ト)となった。
	2. 見通し (1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)が発表した鶏肉需給表では、8月の出回り量は国産132.1千ト(前年比98.8%・前月差+0.7千ト)、輸入品52.2千ト(同110.5%・同+1.5千ト)と合計で184.4千ト(同101.9%・同+2.2千ト)となった。9月以降の国産在庫については、夏場、凍結に回ったモモ肉の在庫が多いことや年末特殊品の在庫等により前年を上回ると予測する。輸入鶏肉については(独)農畜産業振興機構(ALIC)の予測では、入荷量は、ブラジルのサンタカタリーナ州において鳥インフルエンザが発生した影響により輸入量が減少することから、9月は、やや、10月は大幅に前年を下回ると予測されている。出回り量は前年をわずかに上回る予測のため、9月の期末在庫は前年同月をやや上回り、10月はわずかに下回ると予測する。
相場	1. 令和5年9月動向 (1) 令和5年9月の月平均相場は、モモ肉646円/kg(前月差▲28円)・ムネ肉374円/kg(同▲9円)正肉合計で1,020円/2kgと前月を37円下回り、前年同月を11円下回った。モモ肉相場は月初662円、月末は646円となり(昨年は月初656円、月末683円)、令和4年6月以来、久しぶりに前年の相場を下回った。 生産においては、残暑がきびしく、北の産地では、熱死の増や増体の悪化により、出荷調整を実施しているインテもあるが、南の産地では比較的順調に推移している。モモ肉においては、9月後半、気温が下がってきたことや、売り場の棚割り変更で販売は回復傾向にある。ムネ肉は加工原料や安価な商品として、生鮮品・冷凍品とも販売は順調である。 相場はモモ肉は下げ傾向にあるが、9月も引き続き高水準を維持した。
	2. 見通し (1) 10月の生産量は、前年を上回る計画である。気温が下がってきたことで生産は順調に推移していくと思われる。ただ、令和4年度は10月27日に最初の鳥インフルエンザが発生していて、今年度も警戒が必要である。 量販店の売り場の棚割り変更により、モモ肉のスペースが広がり、販売が伸びていくことが予想される。ムネ肉においても、鍋用つみれや加工品の原料として生鮮品・冷凍品とも引き続き順調に推移すると思われる。 以上のことから、モモ肉相場は上げの月平均670円、ムネ肉相場はもちあいの月平均370円と予測する。 (2) 9月19日、ブラジルのマツ・グロッツ・ド・スール州で鳥インフルエンザの発生が確認され輸入停止措置が講じられた。日本への輸出は少ないため大きな影響はないと思われる。 10月に入り、朝晩の気温も下がり、日中も過ごしやすくなってきた。量販店の売り場でも秋冬商品へ切り替えられ、鍋用つみれの販売が見られるようになった。加えて、今後も食品をはじめ様々な物価高騰による値上げが続くことから、節約志向が働き、他の畜種と比較すれば安価な鶏肉の販売は底堅く推移すると思われる。モモ肉は上げ基調に転じ、鶏肉相場は引き続き高水準で推移していくと思われる。

実績

生産状況 単位:千羽、千トン、%

	R4年累計		R5年8月推計実績		R5年9月計画		R5年10月計画		R5年11月計画	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
入雛羽数	774,648	100.1%	68,207	101.6%	68,136	100.5%	70,005	101.0%	63,184	100.7%
処理羽数	737,217	100.2%	60,246	101.3%	60,772	102.2%	63,341	100.7%	63,064	102.4%
処理重量	2,224.1	99.9%	175.5	100.8%	179.8	102.0%	190.0	100.1%	190.3	100.5%

※参考資料:(株)全農チキンフーズ発行「PMN」

輸動向 単位:千トン、%

品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
R3年累計	595.8	535.0	111.4	481.0	469.5	102.5	1,076.8	1,004.5	107.2	55.3	44.7
R4年累計	574.5	595.8	96.4	525.8	481.0	109.3	1,100.3	1,076.8	102.2	52.2	47.8
R5年3月	47.5	45.1	105.3	40.6	47.8	84.9	88.1	92.9	94.8	54.0	46.0
R5年4月	47.4	43.6	108.8	39.9	44.1	90.4	87.3	87.7	99.6	54.3	45.7
R5年5月	51.7	42.5	121.7	35.4	42.1	84.1	87.2	84.6	103.0	59.3	40.7
R5年6月	57.7	52.2	110.6	39.7	46.2	86.0	97.5	98.4	99.0	59.2	40.8
R5年7月	46.7	45.6	102.3	39.5	43.8	90.1	86.2	89.4	96.3	54.2	45.8
R5年8月	56.0	47.4	118.1	40.4	47.8	84.5	96.3	95.2	101.2	58.1	41.9

※参考資料:財務省「貿易統計」、(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」

鶏肉の消費動向 単位:グラム、円、%

履歴	数量			金額		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R3年平均	1,526	1,565	97.5	1,410	1,440	97.9
R4年平均	1,510	1,526	99.0	1,448	1,410	102.7
R5年3月	1,497	1,550	96.6	1,511	1,439	105.0
R5年4月	1,572	1,512	104.0	1,566	1,368	114.5
R5年5月	1,485	1,476	100.6	1,530	1,403	109.1
R5年6月	1,455	1,433	101.5	1,492	1,375	108.5
R5年7月	1,361	1,439	94.6	1,422	1,345	105.7
R5年8月	1,363	1,372	99.3	1,411	1,309	107.8

※参考資料:総務省統計局HP「家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)」

相場(年別・暦年) 単位:円

	モモ肉	ムネ肉	計
H27年	639	336	975
H28年	621	255	876
H29年	626	315	941
H30年	595	282	877
R元年	585	243	828
R2年	614	269	883
R3年	641	313	954
R4年	662	348	1,010

在庫状況(推定) 単位:千トン、%

履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R5年3月	27.0	32.5	83.2	126.9	125.2	101.4	153.9	157.7	97.6
R5年4月	27.5	31.3	87.9	119.5	116.3	102.8	147.1	147.6	99.6
R5年5月	29.3	31.2	94.2	127.5	115.7	110.2	156.8	146.9	106.8
R5年6月	28.6	30.5	93.7	133.6	119.1	112.2	162.2	149.6	108.5
R5年7月	30.6	28.9	106.0	129.6	121.1	107.0	160.2	150.0	106.8
R5年8月	32.0	28.5	112.3	133.3	121.2	110.0	165.3	149.7	110.4

※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」

相場(月別) 単位:円、%

品名	モモ肉			ムネ肉			正肉合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
R4年平均	662	641	103.3	348	313	111.2	1,010	954	105.9
R4年度平均	702	627	112.0	371	317	117.0	1,073	944	113.7
R5年6月	745	624	119.4	405	326	124.2	1,150	950	121.1
R5年7月	709	637	111.3	398	340	117.1	1,107	977	113.3
R5年8月	674	649	103.9	383	354	108.2	1,057	1,003	105.4
R5年9月	646	667	96.9	374	364	102.7	1,020	1,031	98.9
R5年10月	(670)	697	96.1	(370)	376	98.4	(1,040)	1,073	96.9
R5年11月	(690)	729	94.7	(370)	396	93.4	(1,060)	1,125	94.2

※()は見通し